

『長野県更級農業高等学校【全日制課程】の「3つの方針」』

更級農業高校では、農業分野（食料・環境・生命など）の将来のスペシャリストとして必要な知識や技術の習得だけでなく、地域産業の持続的発展を担う「地域の核」となるために必要な資質・能力を育成することを目標としています。さらに農業教育を通じた人格形成を基本として創造力とリーダーシップ、豊かな人間性と倫理観を備え、社会貢献への使命感を持った人材を養成することを目指しています。

1 生徒育成方針（このような生徒を育成します）

- (1) 普通教科の基礎的学力を定着させ、農業の基礎的な知識や技術を習得した上で、地域特産品の果樹・野菜・米・花等の農産物の栽培から加工・流通・販売の方法まで実践的に学びます。さらに、環境にやさしい農業等についての知識・技術を高め、農業経営の基礎力を養成します。
- (2) すべての教科の授業や農業科目の実験・実習、課題研究を通して、思考力・創造力・課題解決能力を身につけ、農業や地域の課題に気づき、その解決方法を考える力を育成します。
- (3) 農業分野の学びの成果を社会に還元しようとする態度と自発的に学習する能力を身につけ、農業の振興や地域創生のために、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を育成します。
- (4) 職業人として必要な豊かな人間性と社会性を高め、思いやりの心と倫理観・規範意識を養成します。

2 教育課程編成・実施方針（このような特色ある「学び」を展開します）

- (1) 自ら学ぶ姿勢と学習習慣の定着を図り、すべての教科で基礎学力の定着・向上を図ります。
- (2) 社会の変化に柔軟に対応し、地域社会の持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身につけるため、すべての教科で「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った探究的授業を展開します。特に、農業科目ではプロジェクト学習や課題研究発表を通じて思考力・創造力・課題解決能力の向上とコミュニケーション能力の育成を図ります。
- (3) 「農業生産と農業経営」、「食品製造と食品流通」、「農地の保全と環境保全」等の各分野における実践的・体験的な学習活動を充実させ、生産性及び品質向上や経営発展と関連付けて、地域に根ざした農業の専門知識・技術の習得を目指します。さらに情報(ICT)活用力を育成し、6次産業化の知識を深めます。
- (4) 地元産業や地域との係わりを学び、地域資源の活用について考えます。さらに、進路保障の充実を図り、先進農家や企業でのインターンシップ・実習を通して、必要とされる知識・技術や備えるべき能力(創造力・課題発見力・解決力等)への気づきを促し、学習意欲の向上と検定・資格取得の促進につなげます。
- (5) 農業の普及活動への関心を高め、学んだ知識・技術を活かし、地域の人々との農業を通じた交流など、地域を豊かにするための諸活動に積極的に取り組みます。
- (6) 生命に係わる学びを通して思いやりの心を養い、人間性豊かな職業人の育成を図ります。さらに、基本的生活習慣の確立を重視し、規範意識と倫理観の育成に努めます。

3 生徒募集方針（このような生徒を待っています）

- (1) 地域社会や国際社会における農業・食料・環境の学習に関心が高く、将来への目的意識をもって意欲的に学ぶことができる生徒を待っています。
- (2) 身につけた専門性を活かし、農業や産業の担い手、さらには地域を支えるリーダーとして社会に貢献しようとする気概をもった生徒を待っています。
- (3) 生徒会活動や部活動で活躍し、入学後もそれらの活動に積極的に取り組みたい生徒を待っています。